

【人材育成学会第11回研究会のご案内】
 「メンタルヘルス：人材育成からのアプローチ」
 ～ 発症前に何ができるかを探る～

企業、大学、各種団体など様々な組織においてメンタルヘルス問題が深刻化しています。これまでメンタルヘルス対策は医療の面から2次予防（早期発見、早期対処）と3次予防（職場復帰支援、再発防止）が中心でした。しかし激増するメンタルヘルス問題に対して医療の視点だけでなく、未然防止や労働者の健康増進、さらには生産性の高い職場づくりを目指した1次予防の視点が重視されるようになっていきます。

本研究会では、仕事に生き活きと取り組むことがメンタルヘルス問題の予防に大きな効果をもたらすとの想定のもとに、メンタルヘルスをテーマとして人材育成の面からアプローチいたします。

今回は、メンタルヘルス問題に関して、1次予防の視点を重視して研究・実践活動を続けておられる3名の論客をお招きして、それぞれの研究・実践活動を報告していただきます。報告へのコメント並びに全体討論のコーディネートには、メンタリング・プログラムを活用したメンタルヘルスの「0（ゼロ）次予防」をご提唱の、慶應義塾大学大学院、渡辺直登教授にご登壇いただき、フロアの皆様との討論を深めてまいります。

2007年 9月 研究会企画担当 大泊 剛（株式会社人事工学研究所 代表取締役）

● 日時 2007年11月4日(日) 14:00～17:00

● 会場 (財)日本科学技術振興財団 科学技術館 事務棟6階第3会議室

● プログラム

13:30 ————— 開場、受付

14:00 — 14:02 【開会挨拶】 大泊 剛 (株式会社人事工学研究所)

14:02 — 14:15 【司会・コメント】 渡辺 直登氏 (慶應義塾大学大学院 教授)

14:15 — 14:45 【講演 1】 ワーク・エンゲイジメント—その可能性と展開—
 島津 明人 氏
 (東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 准教授)

14:45 — 15:15 【講演 2】 EAPの現場から—EAP活動の現状と今後の取組み—
 松本 桂樹氏
 (株式会社 ジャパンEAPシステムズ 執行役員 EAP事業本部長)

15:15 — 15:45 【講演 3】 日頃のマネジメントに組み込む予防策—職場環境改善の視点から—
 高橋 修氏
 (目白大学人文学部 非常勤講師 北里大学医療衛生学部 非常勤講師)

休 憩

16:00 — 16:45 【全体討論・フロアを含めた質疑応答】